

8 営農の発展とともに若い世代が集まる農村環境の構築

- 地域の農畜産物や生産資材等の円滑な運搬が可能となり、地域農業を支える経営体の農業経営が安定
- 観光施設へのアクセス向上と観光農園等への誘客で地域を活性化し、流入人口を増やし、若い世代の定住を促進
- 地域生活環境の向上だけでなく、主要国道の災害時・緊急時には代替道路としての道路ネットワークを形成

取組前

国道、県道主体の道路網

- 農産物の搬出等は国道・県道を利用されていたが、日本三名泉で有名な下呂温泉への観光客等の一般車の交通量も多く、円滑な運搬に支障

取組内容

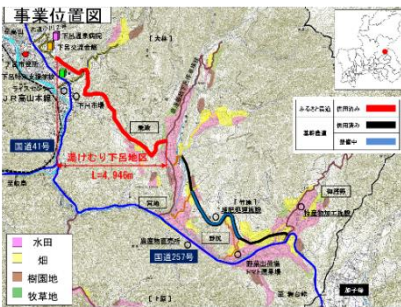
農道整備事業の実施

【県営ふるさと農道整備事業(H5~H24)】

- 事業量 L=5.6 km

【県営基幹農道整備事業(H6~R7(予定))】

- 事業量 L=4.7 km



農道整備推進協議会の設立

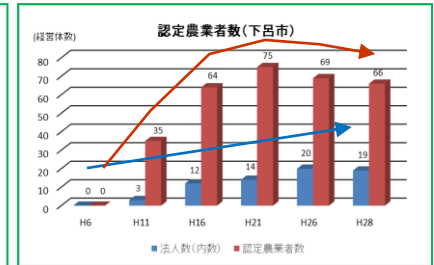
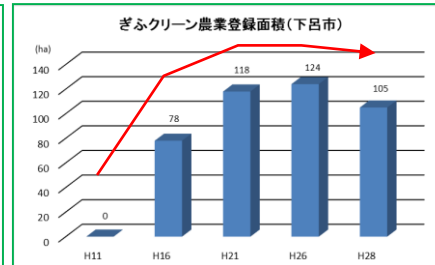
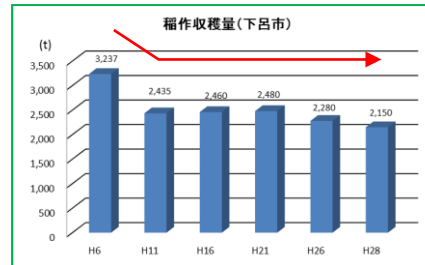
「下呂ふるさと・農免農道整備推進協議会」の設立



取組後

営農活動における効果

- 認定農業者（個人・法人）全体は増加後横ばい傾向となってきたが「法人」は増加傾向
- ぎふクリーン農業の登録面積も増加しており、今後も農道を活用した効率的な農業が推進されることで農業者の育成に期待
- 稲作収穫量、肉用牛飼養頭数とも平成6年度からは減少しているものの、近年は減少に歯止め



緊急輸送対策、救急医療対策

- 緊急輸送道路の国道41号、257号の新たな迂回ルートとしての機能を果たし、集落が孤立化する度合いを低減
- 救急医療対策として、救急車両の走行ルートが新たに生まれ乗政から下呂温泉病院までの時間が約8分短縮となるなど救急医療体制の充実に貢献

公共施設、観光施設等への利便性の向上



下呂交流会館利用人数
H21:74,465人
→H28:85,069人

観光農園入場者数
(田上農園・朽本農園)
H21:4,334人
→H28:5,500人



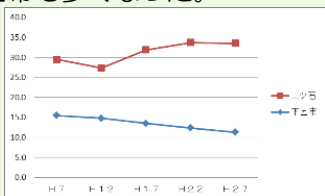
ふるさと農道「湯けむり下呂」



きっかけ

各集落から農業施設への生産物の搬出は、国道、県道の利用がなされているが、観光客等の交通量が多く、農畜産物や生産資材等の円滑な運搬に支障を来している

○ふるさと農道終点部の乗政に位置する三ツ石集落は総戸数36戸 人口168人のうち14歳以下の人口が45人【人口比27%】
これは、下呂市全体(15%)に比べ12ポイントも高い。農道開通により若い夫婦が住みやすい環境となり、3世代世帯も多くなった。

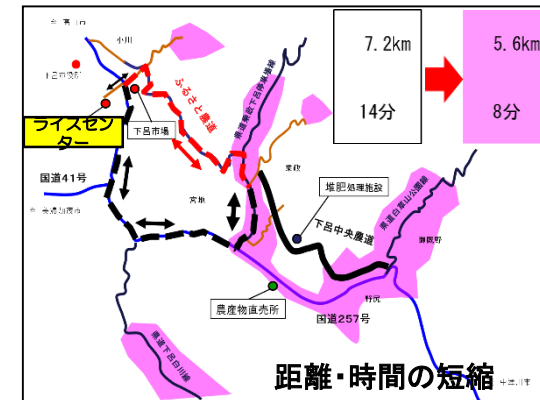


将来に向けて

- 農業関連輸送だけでなく、木材市場や福祉施設、観光施設へのアクセスなどにおいても更なる利便性の向上、また、地域交通のセーフティネット形成のため、現在実施中の下呂中央地区の全線開通への着実な整備実施が望まれる。
- 主要道路の迂回路等、道路ネットワークを形成し住環境の向上を図る。

今後の展望

下呂交流会館



Step1 (H5)

事業推進協議会の設立

- 事業開始に合わせ農業団体、受益者代表が「下呂ふるさと・農免農道整備推進協議会」を設立し、地元との連絡調整など事業推進活動に取り組み「地元による地元のための道づくり」として協力

Step2 (H5～)

農道整備の実施

- ふるさと農道「湯けむり下呂」と基幹農道「下呂中央地区」との一体的な整備を進めることで、地域交通の円滑化を図り、各集落と下呂市中心市街地への路網が確保され、農業集落の生活環境が改善

Step3 (H12～)

生活環境の向上と交流人口の増加

- ふるさと農道着手後 (H6以降) 周辺の施設整備と併せて、地域の生活環境や観光客数の向上に寄与
農産物直売所いでゆ朝市 (H12.7) 観光農園
朽本農園 フルーツマト狩 (H13.7)
田上農園 ブルーベリー狩 (H19.7)
下呂交流会館 (H21.3)
岐阜県立下呂温泉病院 (H26.5)

【住民協働作業(1)】



地元企業有志による農道沿線への植栽

【住民協働作業(2)】



自治会 (沿線住民) による下草刈り

【農産物直売所いでゆ朝市】



- ・6次産業、農商工連携の推進
- ・地産地消 (学校給食)
- ・新規就農者の増加

Step4 (H13～)

観光農園、直売所

- 農産物直売所 (いでゆ朝市・JA直売所) 観光農園 (田上農園・朽本農園) 入場者数 H21 : 4,334人→H28 : 5,500人

Step6 (H25～)

高付加価値・高収益作物の生産

- ぎふクリーン農業の作付面積が増加傾向【平成28年度末時点】
全体 : 105ha
その内、米75ha、茶22ha、トマト2haのほか、ブルーベリー、アスパラガスなどを作付

Step5 (H25～)

農産物流通の安定化

- 乗政地区から下呂市街地方面への移動距離・時間が短縮され、作物輸送の効率性が向上 (ふるさと農道)
- 距離・時間の短縮は、運搬の際の損傷の軽減につながり、生産物の品質向上に寄与